計画策定用シート2　目的の整理

* 本シートは、データヘルス計画策定にあたり、計画の目的と関連する事業を整理するためのものです。
* 目的としては、計画の最終ゴールとして目的、それを達成させるための下位の目的があります。そして、下位の目的に対応する事業を整理することができます。
* 目的は細かく挙げればきりがありませんが、「計画策定用シート1　課題の整理」と同様に、多すぎないように（10前後が目安）まとめたり、優先順位を付けたりします。
* 下位目的は、「計画策定用シート1　課題の整理」での課題に対応させるのが理想です。「計画策定用シート1　課題の整理」を横に置きながら、そこで出された課題を解決する時の目的を記入するとよいでしょう。
* さらに、下位目的ごとにそれに関連する事業を挙げましょう。
* 理想的には、下位目的ごとに指標を挙げるのがよいのですが、この時点で指標を検討するのは大変なので、指標は、個別保健事業を考える（「計画策定用シート4　個別保健事業の計画」）時に、検討するのがよいでしょう。ただし、上の目的の指標は残しています。
* 「計画全体の整理２」は、下位目的をさらに2つの階層（中目的、小目的）に分けたものです。
	+ 中期（数年～）で達成できそうなものが中目的、短期（1年～数年）で達成できそうなものが小目的となります。事業によっては中目的が共通するものもあります。
	+ 2段階に分けたものができると、個別保健事業の評価方法が整理しやくすくなります。中目的が中長期的なアウトカムの評価、小目的が短期のアウトカムまたはアウトプットの評価に関連します。

計画全体の整理１

1．目　的

|  |  |
| --- | --- |
| 目　的 | 指　標 |
|  |  |

2．下位目的　※必要に応じて追加すること

|  |  |
| --- | --- |
| 目　的 | 関連する個別保健事業 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

※適宜、枠を追加すること

計画全体の整理2

1．目　的

|  |  |
| --- | --- |
| 目　的 | 指　標 |
|  |  |

2．下位目的（2段階）　※必要に応じて追加すること

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 中　目　的 | 小　目　的 | 関連する個別保健事業 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

※適宜、枠を追加すること

計画全体の整理１

１.目　的

|  |  |
| --- | --- |
| 目　的 | 指　標 |
| 計画全体の目的を記入。例えば、「健康寿命を延伸する」「医療費を適正化する」など。 | 左記の目的に関連する指標を挙げる。例えば、健康寿命、平均自立期間、一人当たり医療費、など。 |

２.下位目的　※必要に応じて追加すること

|  |  |
| --- | --- |
| 目　的 | 関連する個別保健事業 |
|  |  |
|  |  |
| 上記の目的を達成させるための下位の目的を記入する。例えば、「生活習慣病の重症化を予防する」「メタボリックシンドローム該当者を減少させる」「適正服薬・受診を推進する」など。数としては10前後が目安か。これが、次期計画の“柱”もしくは個別保健事業の目的になる。 |  |
|  | 左記の目的に関連する事業を列挙する。例えば、「生活習慣病の重症化を予防する」に対しては、糖尿病性腎症重症化予防、医療機関受診勧奨など、「メタボリックシンドローム該当者を減少させる」に対しては、特定健診・特定保健指導など。 |
|  |  |
|  |  |

※適宜、枠を追加すること

計画全体の整理2

1．目　的

|  |  |
| --- | --- |
| 目　的 | 指　標 |
| 計画全体の目的を記入。例えば、「健康寿命を延伸する」「医療費を適正化する」など。 | 左記の目的に関連する指標を挙げる。例えば、健康寿命、平均自立期間、一人当たり医療費、など |

2．下位目的（2段階）　※必要に応じて追加すること

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 中　目　的 | 小　目　的 | 関連する個別保健事業 |
| 上記の目的を達成させるための下位の目的を記入する。例えば、「生活習慣病の重症化を予防する」「メタボリックシンドローム該当者を減少させる」「適正服薬・受診を推進する」など。数としては5～10が目安か。これが、次期計画の“柱”もしくは個別保健事業の目的になる。 |  | 左記の目的に関連する事業を列挙する。例えば、「生活習慣病の重症化を予防する」に対しては、糖尿病性腎症重症化予防、医療機関受診勧奨など、「メタボリックシンドローム該当者を減少させる」に対しては、特定健診・特定保健指導など。 |
|  | 左記の目的（中目的）を達成させるためのさらに下位の目的を記入する。例えば、中目的＝「メタボリックシンドローム該当者を減少させる」であれば、「特定健康診査の受診・特定保健指導の利用の促進」、「保健指導利用者のメタボリックシンドロームの改善」など。これが、個別保健事業のより具体的な目的（アウトプットを含む）になる。 |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

※適宜、枠を追加すること